

特定非営利活動法人日本小児循環器学会

## 2014 年度総会 議事録

日時：2014 年 7 月 4 日(金) 13:10～13:50

場所：岡山コンベンションセンター AB会場

### 理事会組織（敬称略・五十音順）

理事長：安河内 聡

副理事長：角 秀秋

理事：市田 露子、小川 俊一、小山 耕太郎、賀藤 均、鎌田 政博、坂本 喜三郎、佐地 勉、  
佐野 俊二、白石 公、住友 直方、土井 庄三郎、富田 英、中西 敏雄、丹羽 公一郎、  
檜垣 高史、三谷 義英、山岸 敬幸、山岸 正明

監事：新垣 義夫、八木 原俊克

幹事：鮎澤 衛、深澤 隆治

### 1) 開会：安河内 聡理事長

1. 定款 26 条 3 項により議長となる。
2. 総会成立の確認：当日の出席者と委任状 1456 通(定足数 1402 名)により、定款 27 条 3 項を満たし、総会は成立した。
3. 議事録署名人の選任：白石理事、住友理事

### 2) 会長挨拶：第 50 回会長 佐野 俊二理事

多数の会員の参加と協力に謝辞が述べられた。

### 3) 物故会員

安河内理事長より下記の物故会員が紹介され、全員で黙祷を捧げた。

■物故会員（敬称略・五十音順）

(名誉会員)馬場<sup>ばば</sup> 清<sup>きよし</sup>、松尾<sup>まつお</sup> 準雄<sup>のりお</sup>、八代<sup>やつしろ</sup> 公夫<sup>きみお</sup> (特別会員)木口<sup>きぐち</sup> 博之<sup>ひろゆき</sup>

(正会員)間島<sup>まじま</sup> 勝徳<sup>かつのり</sup>、蛭名<sup>えびな</sup> 勝仁<sup>かつひと</sup>、松本<sup>まつもと</sup> 雅彦<sup>まさひこ</sup>

### 4) 総務報告：佐地 勉理事

会員数の動向

2014 年 5 月末現在

正会員〔医師 2,439 名（海外在住 9 名含む）、医師以外 277 名〕

名誉会員 31 名、特別会員 52 名、賛助会員 3 社、団体会員 17 件

### 5) 財務報告：坂本 喜三郎理事

(1) 2013 年度決算案報告と承認

◆収入に関して

- ・収入の部では、新医療機器策定事業収入 325 万円強ある。厚生労働省からの依頼で臨時に収入があった。
- ・学術集会からの収入があった。

◆支出に関して

- ・新医療機器策定事業では、325 万円の収入に対して 120 万円程度の支出しかなかったため、200 万円強の黒字になり、一般会計に組み入れた。
- ・昨年の学術集会への学会の支出 100 万円に対し、最終的に 400 万円多く学会に戻していた。

◆収支に関して

- ・全体の収支では約 600 万円の黒字となり、次年度繰越金が 300 万円となっている。
- ・貸借対照表としては大きな動きはない。

◆専門医制度特別会計

収入に関しては今後もこの程度が続くと予想される。50 人程度の受験者として収入は 300 万円程度である。最終的な決算では収入が 100 万円弱増え 378 万円となった。これはメディカルトリビューンからの返還金があったためである。支出は 670 万円を計上していたが、種々の委員会の節約により 500 万円に削減された。しかしながら、これ以上の経費の削減は、専門医の会計からは難しいと言える。以上から最終的に 120 万円の赤字になっている。一時金がなければ、例年は約 250 万円の赤字が見込まれる。

◆2013 年度会計全体の収支に関して

一般会計では 627 万円の黒字、専門医特別会計では 126 万円の赤字となり、全体としては 500 万円の見かけ上の黒字として次年度に持ち越されている。

⇒八木原監事より、2013 年度の会計報告について八木原監事・新垣監事ともに適正である事を確認した旨が報告され、2013 年度の決算は承認された。

(2) 2014 年度予算案提案と承認

◆収入について

例年 2800 万-2900 万の会費収入。会費が 12,000 円から 15,000 円に増額したことにより、約 790 万円の収入増が見込まれる。その他の収入については例年並みを予想している。

◆支出について

以下の支出において昨年度からの大幅な増額が想定されている。

・会誌発行业務費

例年は 1800 万円前後であったが、2014 年度は 2556 万円となり、約 750 万の支出増加となる。これはページ数の増加によるものであり、学会の activity が高まる分、支出も増える。

・学術活動事業費

180 万円の増加。学会活動の様々な Activity を高める為に計上している。

◆専門医特別会計

50 人程度が受験し、40 名程度が合格したとして、収入は 250 万強。支出は昨年度並みで赤字となるが、400 名の更新料が今後見込まれるため、数十万円の赤字で推移する見込み。バランスのとれた会計に近づきつつある。

⇒賛成多数により、承認された。

6)各委員会報告

議長より以下の委員会について報告がされた。

- 1) 将来計画委員会：安河内 聡委員長

- 2) 学術委員会：小川 俊一委員長
- 3) プログラム委員会：丹羽 公一郎委員長
- 4) 学会雑誌編集委員会：白石 公委員長
- 5) 広報交流委員会：中西 敏雄委員長
- 6) 利益相反委員会：三谷 義英委員長
- 7) 学校心臓検診委員会：住友 直方委員長
- 8) 専門医制度委員会：富田 英委員長
- 9) 保険診療委員会：賀藤 均委員長
- 10) 多領域専門職委員会：安河内 聡委員長
- 11) 医療安全委員会：檜垣 高史委員長
- 12) 臓器移植委員会：白石 公委員長
- 13) 地方会委員会：小山 耕太郎委員長
- 14) 顕彰委員会：三谷 義英委員長
- 15) 倫理委員会：土井 庄三郎副委員長

7) 学術集會会長報告：第 49 回会長 中西 敏雄理事  
 第 51 回会長 佐地 勉理事  
 第 52 回会長 小川 俊一理事  
 それぞれの会長より報告・挨拶があった。

#### 8) 審議・提案事項

(1) 【将来計画委員会】理事立候補制について

・・・・・・・・安河内 聡委員長

⇒理事選挙に関する定款施行細則第 4 条、第 5 条、第 12 条の変更について資料に基づき提案がされ、過半数以上の賛成をもって承認された。

(2) 【地方会委員会】制度規則・委員会細則・認定審査施行細則について

・・・・・・・・小山耕太郎委員長

⇒地方会制度に関する 3 つの規則が提案され、過半数以上の賛成をもって承認された。

(3) 【専門医制度委員会】専門医制度規則・修練施設基準について

・・・・・・・・富田 英委員長

⇒専門医制度規則第 9 条、施行細則第 35 条の変更について提案がされ、過半数以上の賛成をもって承認された。

(4) 【顕彰委員会】新規顕彰について

・・・・・・・・三谷 義英委員長

⇒功労賞、CaseReportAward の設立について提案がされ、過半数以上の賛成をもって承認された。

(5) 【雑誌編集委員会】雑誌編集/発行に関する方針

・・・・・・・・白石 公委員長

⇒資料に基づき説明がされ、雑誌を電子化することが過半数以上の賛成をもって承認された。

(6) 【総務】 評議員新規推薦について (9名) . . . . . 佐地 勉理事  
⇒資料に基づき推薦がされ、過半数以上の賛成をもって承認された。

(7) 【利益相反委員会】 COI の開示について . . . . . 三谷 義英委員  
長  
⇒理事や委員会委員長、関連委員会委員、発表者や論文投稿者等に提出を求めてゆく。

## 9) 表彰

### 【Young Investigator's Award】

(和文) 石丸 和彦先生：大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科

「純型肺動脈閉鎖術後遠隔期における心臓 MRI 検査を用いた両心室収縮機能評価」

(和文) 川上 翔士先生：早稲田大学先進理工学部大学院生命医科学科

「酸素化によるラット動脈管平滑筋細胞からのエラスチン分泌の減少」

(英文) 市森 裕章先生：大阪大学大学院医学系研究科

「Drastic Shift From Positive to Negative Estrogen Effect on Bone Morphogenetic Protein Signaling in Pulmonary Arterial Endothelial Cells Under Hypoxia」

【高尾賞】 南沢 享先生：東京慈恵会医科大学

## 5) 閉会：安河内理事長

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2014年 7月 4日

議 長 安河内 聰

議事録署名人 佐地 勉

議事録署名人 佐野 俊二

(以下、余白)

